



---

## CHUKYO TV. News Release

---

### 新コーポレートマーク発表記者会見

2015年12月14日  
中京テレビ放送株式会社

中京テレビ放送株式会社(本社:愛知県名古屋市 代表取締役社長:山本孝義)は、名古屋駅の南に位置する「ささしまライブ24」(愛知県名古屋市中村区)に新社屋が竣工し(12月7日竣工式)、2016年11月に移転を予定。移転を第二の開局と位置づけ、今後の当社の目指す企業姿勢としてブランドステートメントを策定し、本日午後2時より、新コーポレートマークの発表記者会見を開きました

#### <ブランドステートメント・新コーポレートマーク>

ブランドステートメント 「あなたの真ん中へ。」 (2016年4月より使用)

新コーポレートマーク



(2016年4月より使用)

新コーポレートマークには、日本の真ん中、名古屋の真ん中から、地域の皆様と共に未来へ進んでいく決意を込めました。中京エリアのC、中京テレビのC、真ん中、センターのC。この三つのCが重なり合ったコーポレートマークは、地域の皆様を包み、未来を見通すスコープを表しています。

## コーポレートカラー



優しさの中にも力強さを感じさせる「Chukyo Active Pink」。地域の皆さまに親しまれ、未来に向かってより活動的にテレビの使命を果たしていく決意を込めたシンボルカラー。

## <新社屋について>

別紙資料をご参照下さい。

以上

【お問い合わせ】

中京テレビ 経営企画局コーポレートコミュニケーション部

(別紙)

# 中京テレビ放送株式会社 本社ビル概要

## ●概要

- 敷地面積：7,120.52㎡ (2,153.96坪)
- 延床面積：本体建屋27,667.31㎡, 駐車場棟1,814.83㎡, キャノピー棟32.00㎡, 給油所8.10㎡ 合計29,522.24㎡ (容積率383.38%)
- 階数：本体建屋 地上11階 (塔屋1階)、駐車場棟 地上2階
- 建物高さ：60.90m (電波塔最高部159.29m)
- 構造：免震構造 鉄骨造 (一部鉄骨鉄筋コンクリート造)
- C M：日建設計コンストラクション・マネジメント (株)
- 設計：伊藤建築設計・日建設計 共同企業体
- 施工：(株)大林組
- 着工：2014年3月25日
- 竣工：2015年12月7日  
\*その後、放送機器の設置、調整など 開業に向けた作業を行います
- 開業：2016年11月21日全面移転 (予定)



外 観

## ●コンセプト

### ◆放送機能の強化

スタジオの面積 (有効面積)

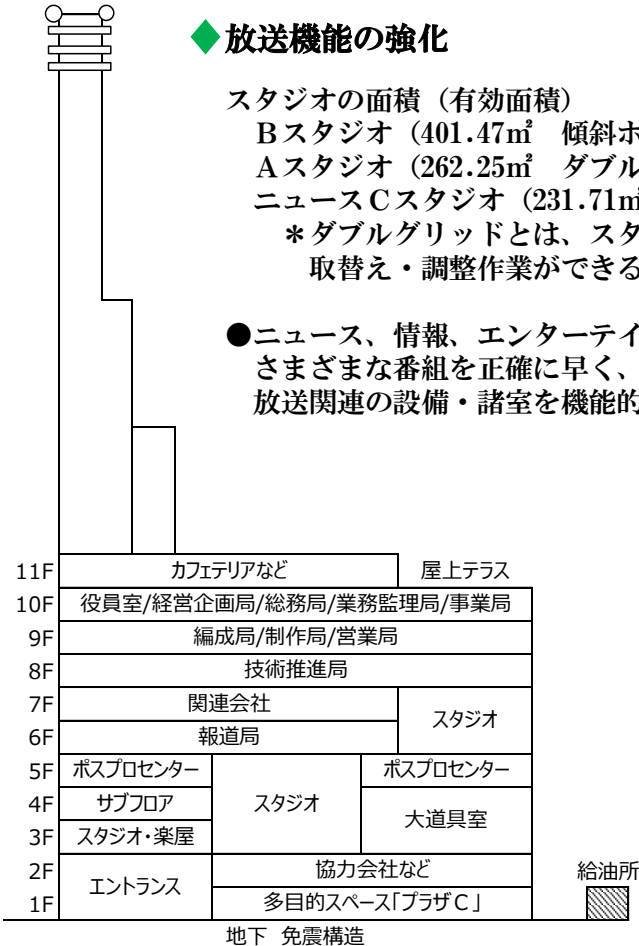
Bスタジオ (401.47㎡ 傾斜 Horizont 給排水・ガス設備) 面積は在名民放局で最大級

Aスタジオ (262.25㎡ ダブルグリッド 給排水・ガス設備)

ニュースCスタジオ (231.71㎡ ダブルグリッド)

\*ダブルグリッドとは、スタジオにセットを組んだままの状態でも、天井の照明器具の取替え・調整作業ができるようにした2重天井のこと

- ニュース、情報、エンターテインメント番組など、さまざまな番組を正確に早く、効率よく制作・放送できるように、放送関連の設備・諸室を機能的に集約・配置した



Bスタジオ

## ◆東日本大震災の教訓を生かした「災害に強く、信頼性の高い局舎と設備」

- ・名古屋の放送局では初の免震構造を採用
- ・大きな揺れでも脱落しない天井（特定天井）を採用（平成26年4月1日施行の建築基準法施行令改正に対応）
- ・万一の浸水に備えて敷地を1mかさ上げ
- ・非常用発電機を7日間以上連続運転させることが可能な重油タンク（15万リットル）
- ・非常用発電機はデュアルフューエル（重油でもガスでも運転が可能）を2基と重油専焼を1基、計3基設置
  - \*災害に強い「中圧Aガス」を使用
  - ガス管が損壊しなければ、さらに長期間の放送が可能
- ・敷地内に車両用給油所（ガソリン&軽油）を設置
- ・緊急時トイレ用マンホールの設置



地下の免震装置

## ◆環境への配慮

- ・地域冷暖房（DHC）による空調
- ・遮熱効果の高い建築材の採用などによる省エネルギー
- ・屋上緑化、壁面緑化など緑化率は敷地面積の20%以上
- ・環境配慮レベルをあらわす「CASBEE名古屋」の“Sクラス”を取得



3台の非常用発電機

## ◆交流や地域づくりへの貢献

- ・講演会やミニコンサート、試写会などが活用できる多目的スペース「プラザC」を設置（面積は323.5㎡ 240席可動イスを完備）
- ・東側隣接の公園（約6,700㎡）と一体化したイベント開催が可能な敷地デザイン
- ・東側屋外ビジョンは、名駅周辺地区安全確保計画において、「情報伝達施設」に指定され、最新ニュースのほか、名古屋駅周辺エリアの防災情報も放映する予定
  - \*壁面のビジョンとしてはこの地方で最大
- ・エントランスとプラザCは、巨大地震が発生した時の「退避施設（発災後24時間受け入れ施設）」として登録
  - \*エントランスホールの面積は576.1㎡（カフェを含む）
- ・北西角の歩道に約100㎡の「まちかど広場」を設置



屋外ビジョン（582インチ）



まちかど広場